

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 24 日(2024.7.24)

【公開番号】特開 2024-87647(P2024-87647A)
【公開日】令和 6 年 7 月 1 日(2024.7.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-121
【出願番号】特願 2022-202581(P2022-202581)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 16 日(2024.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定
値に達したか否かを判定する判定手段と、

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不
能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

前記遊技不能状態とは異なる所定の待機状態にて、遊技進行中に比べて消費電力を抑制
することが可能な第 1 の省電力化手段と、

30

前記遊技不能状態にて、遊技進行中に比べて消費電力を抑制することが可能な第 2 の省
電力化手段と、

を備え、

前記第 1 の省電力化手段と前記第 2 の省電力化手段は、消費電力を抑制する態様が異な
るものであり、

前記第 2 の省電力化手段は、前記遊技不能状態が開始されてから所定期間の経過後に特
定の演出手段の消費電力を該所定期間の経過前よりも低下させうる手段であって、

さらに、前記所定期間の経過後に前記特定の演出手段の消費電力を低下させた場合であ
っても、当該遊技機に設けられる特別発光体の輝度は遊技進行中と同様の輝度とされ、

40

さらに、前記遊技不能状態では、前記所定期間が経過しているか否かに拘わらず、前記
遊技不能状態であることを示す特定表示を行うことが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

50

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

前記遊技不能状態とは異なる所定の待機状態にて、遊技進行中に比べて消費電力を抑制することが可能な第1の省電力化手段と、

前記遊技不能状態にて、遊技進行中に比べて消費電力を抑制することが可能な第2の省電力化手段と、

を備え、

10

前記第1の省電力化手段と前記第2の省電力化手段は、消費電力を抑制する態様が異なるものであり、

前記第2の省電力化手段は、前記遊技不能状態が開始されてから所定期間の経過後に特定の演出手段の消費電力を該所定期間の経過前よりも低下させうる手段であって、

さらに、前記所定期間の経過後に前記特定の演出手段の消費電力を低下させた場合であっても、当該遊技機に設けられる特別発光体の輝度は遊技進行中と同様の輝度とされ、

さらに、前記遊技不能状態では、前記所定期間が経過しているか否かに拘わらず、前記遊技不能状態であることを示す特定表示を行うことが可能である

ことを特徴とする。

20

30

40

50